

ガラスのメンテナンス上、次のような点にご注意ください。

1 ガラスは日頃より入念に清掃を心がけますと、光沢があり透き通った美しい状態を維持することができます。しかし、ガラスを清掃しないまま放置すると、徐々にガラスにほこりや空気中の化学物質などが固着し、一般的なクリーニングでは汚れが落ちにくくなります。また、頻繁に水を浴びる場合や、濡れ、乾燥を繰り返す場合にも、表面が白濁して一般的なクリーニングでは落ちにくくなりますので、このような場所では頻繁に清掃を行ってください。

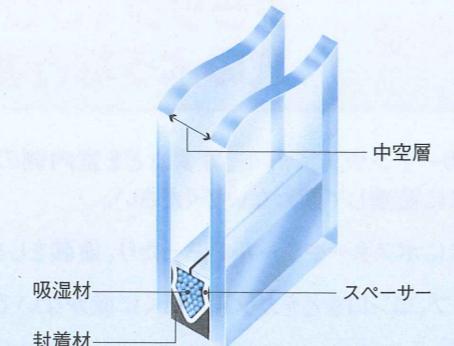


2 清掃にあたっては、ガラスの表面やガラスエッジ（ガラス端部）を傷つけないために、ガラス面や清掃器具に付着した砂などの固形物を十分洗い流してから行うようにしてください。また、洗剤は中性洗剤をご使用ください。



複層ガラスの特性について

複層ガラスは、スペーサーと呼ばれる金属部材で二枚のガラスの間に中空層を持たせたガラスです。スペーサーの中には、中空層内部の乾燥を保つため吸湿材が充填されています。この中空層を密封するために、封着材として寿命のある有機材料を使用しています。このため、複層ガラスは素材としてのガラスと違い寿命のある商品です。なお、板硝子協会会員各社は、正常な施工と使用状態のもとで、複層ガラスの中空層内に結露が発生しないことについて10年間の品質保証を行っています。

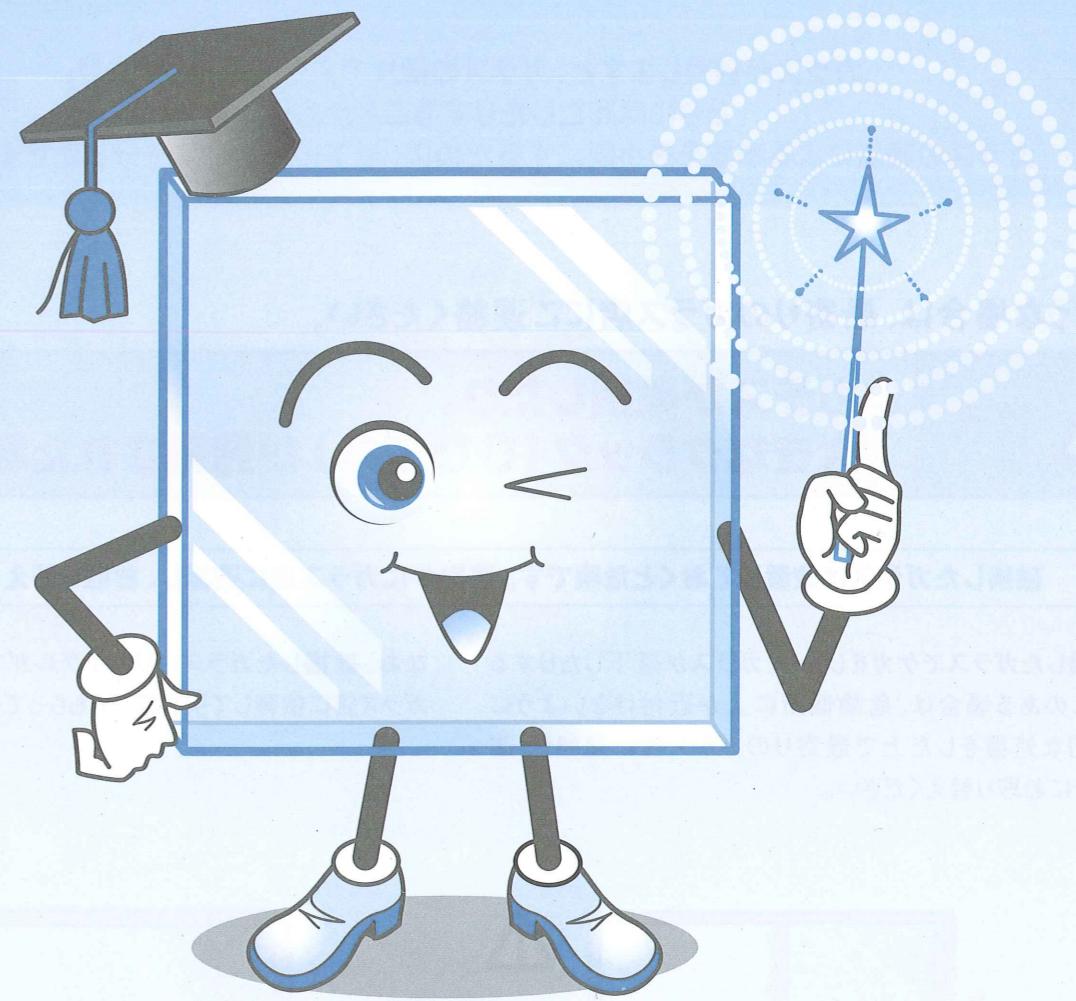


結露について

室内側ガラス表面の結露は暖かい室内側の空気に含まれる水蒸気が、ガラスの表面で冷やされて水滴となり発生します。複層ガラスにすると、中空層の断熱効果により、結露にくくなります。但し、湿度が高い場合には、複層ガラスを使用していても結露をする場合がありますので、「室内の換気を励行する」、「洗濯物を室内に干さない」など、部屋の湿度を下げる工夫も必要です。

ご存知ですか、 ガラスのこと

ガラスを安全にお使いいただくために



ガラスを安全にお使いいただくためには、 ガラスの特性についての正しい知識が必要です。

日頃はそれほど存在感もなく、いろいろな用途・目的に使用されているガラスですが、ガラスの本来持っている特性を十分に知った上でご使用になれば、たいへん機能的で快適なものです。

そこで、私どもでは、消費者または使用者の皆様に、ガラスの特性についての正しい知識を持っていただき、より安全にお使いいただけるよう、要点をまとめてみました。ガラスをお使いいただく際には、本冊子の注意事項を守ってくださいようお願い致します。

**ガラスが破損しますと、ガラスの破片で人が重傷を負ったり、
ときには死亡したりすることがあります。**

ガラスの破損による事故を最小限にするために、以下の内容には十分ご注意ください。



警告

この指示に従わないで誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。



注意

この指示に従わないで誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性があります。または物的損害が発生する可能性があります。



禁止

この禁止マークを表示している個所は、禁止の行為を示しています。ガラスが破損することがありますので、そのような行為はしないでください。

次のような場合は、最寄りのガラス店にご連絡ください。



ガラスが破損したり、 大きなクラック(ひび割れ)が発見された場合

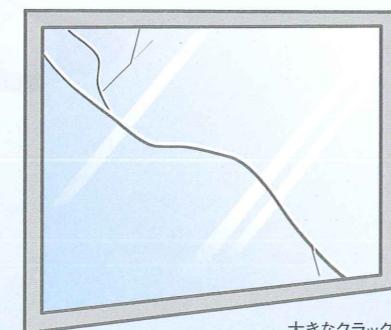
破損したガラスは放置しておくと危険です。速やかにガラス店に連絡し、お取り替えください。

破損したガラスでケガをしたり、ガラスが落下したりする恐れのある場合は、危険個所に人が近付けないように適切な処置をした上で最寄りのガラス店に連絡し、速やかにお取り替えください。

なお、破損したガラスはリサイクルができますので、ガラス店に依頼して引き取ってもらってください。



破損状況



大きなクラック

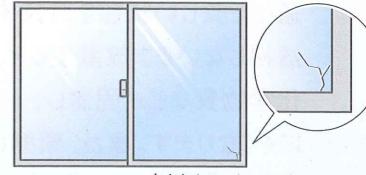


注意

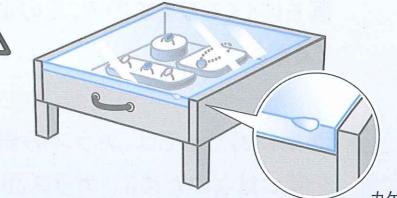
キズやカケ、 小さなクラック(ひび割れ)を発見した場合

キズやカケ、小さなクラックを見つけたら最寄りのガラス店に連絡し、取り替えの必要についてご相談ください。

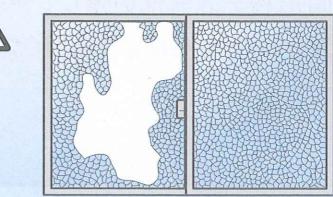
- ① 一般的のガラスや網入りガラスのクラックは見栄えを悪くするだけでなく、放置しておきますとクラックが成長し、それによる破損で思わぬケガをすることがあります。危険です。
- ② ガラス表面やエッジ部の深いキズや大きなカケは、ガラスの強度を低下させ、容易に破損する原因となります。
- ③ 特に強化ガラスについては、ガラス表面やエッジ部の深いキズや大きなカケを放置しておきますと、その特性上、ごくまれに不意に破損することがあります。破損の部位によっては、破片が落下し、ケガをすることがあります。



小さなクラック



カケ



強化ガラスの破損状況

強化ガラスの特性について

強化ガラスは一般のガラスに比べ強度があり、割れにくく、割れても破片が粒状になり、安全性の高いガラスです。安全性を特に要求される学校や住宅、ビルの玄関まわり、自動車、車両等に幅広く使用されています。しかし、強化ガラスは、キズやカケが成長すると、外力が加わっていない状態でも、ごくまれに不意に破損することがあります。破損の際は、一瞬にしてガラスの全面が細かく粒状に破碎します。

ガラスの熱割れ現象を避けるため、次の事項をお守りください。



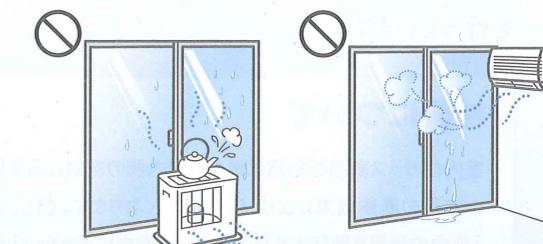
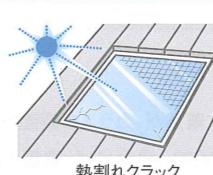
クラック(ひび割れ)発生の原因となりますので、 次のような行為はしないでください

- ① 厚いカーテンやブラインド、家具などを室内側のガラスに密着して置かないでください。
- ② ガラスにポスターやシールを貼ったり、塗装をしないでください。
- ③ ストーブ、コンロなどをガラスの近くに置かないでください。
- ④ 冷暖房の吹き出し空気を直接ガラスに当てないでください。



熱割れ現象について

窓ガラスに日射が当りますと、ガラスの中央部と周辺部に温度差ができます。ガラスの種類と使用条件によっては、この温度差が大きくなり、ガラスにクラックが生じことがあります。



特に次のようなガラスについては、熱割れ現象が生じやすいのでご注意ください。

網入りガラス

▶ 網入りガラスは防火性、脱落防止性に優れていますが、一般のガラスに比べて、温度差によるクラックが生じやすくなります。

熱線吸収ガラス / 热線反射ガラス

▶ 热線吸収ガラス、热線反射ガラスは、冷房時の省エネルギーに優れた効果をもたらしますが、一般ガラスに比べて日射部分と影の部分で温度差がつきやすく、クラックが生じことがあります。なお、断熱・日照調整フィルムが貼られたガラスについても、同様の現象が生じやすくなります。